第２回健康増進センター指定管理者選考委員会
議事概要

１　開催概要

日時　令和８年10月16日（金）午前10時45分から午後０時05分まで

場所　ウェルシティ市民プラザ３階　第１研修室

出席者　選考委員５名

事務局　民生局健康部健康増進課、健康総務課

傍聴者　５名

２　議事内容

健康増進センターの指定管理者選考に応募した１団体（株式会社東京アスレティッククラブ）が、提案内容についてプレゼンテーションを行いました。その後、選考委員が質疑を行いました。

３　主な質疑・回答の概要

（１）横須賀市の課題を踏まえた施設運営

委員から、横須賀市の重点課題をどのように捉え、提案内容に反映したか質問がありました。

応募団体からは、高齢化が進む地域へのアウトリーチ活動や、コミュニティセンターなどを活用した運動・フレイル予防の機会づくりに取り組みたいとの説明がありました。また、子どもを含む各世代や地域のニーズを把握し、新たなサービスの提供を検討するとのことでした。

（２）年間入場者数の目標

委員から、令和13年度の年間入場者数を17万４千人とする目標の設定根拠について質問がありました。

応募団体からは、施設の過去の利用実績や近年の利用状況、休館の影響、人口動向などを踏まえ、自主事業やアウトリーチ活動、新規利用者の獲得などによる利用者数の増加を見込んだとの説明がありました。

（３）経費の削減と施設管理

委員から、削減可能な経費について質問がありました。

応募団体からは、過去５年分の水道光熱費のデータを基に費用を予測し、利用者数の増加に伴う費用も見込んだうえで、消耗品の使用や設備の管理などを通じて経費の削減に取り組むとの説明がありました。人件費の削減は難しいとし、サービスの質を維持しながら経費の適正化を図るとのことでした。

また、施設の利用促進に向けて、高齢化が進む地域での測定などを含むアウトリーチ活動や、地域団体との連携を進めたいとの説明がありました。

（４）利用者同士の交流と地域連携

委員から、イベントを単発で終わらせず、継続的な交流や地域での社会参加につなげるための工夫について質問がありました。

応募団体からは、体力測定や次回企画の案内などを通じて再来館につなげること、地域団体に施設やプログラムを利用してもらうこと、継続的な運動を促すキャンペーンを実施することなどの説明がありました。

また、委員から、スポーツ推進委員や体育振興会との連携について意見がありました。応募団体からは、企画書に記載がなかったことについて謝罪があり、今後は地域団体と積極的に対話し、地域の課題やつながりを把握したうえで取り組むとの回答がありました。

（５）指定管理者交代時の引き継ぎ

委員から、指定管理者が交代する場合の円滑な引き継ぎについて質問がありました。

応募団体からは、個人情報の適切な取り扱い、既存プログラムの利用者への配慮、備品や施設の状態確認を重要事項として挙げ、市と事前に協議しながら進めるとの説明がありました。

（６）災害・事故などへの対応

委員から、マニュアルに記載のない事態や、判断が難しいケースへの対応について質問がありました。

応募団体からは、訓練を通じて職員が現場で適切に判断できるようにすること、必要に応じて関係機関や警察、行政と連携することなどの説明がありました。

（７）栄養・食育の取り組み

委員から、行政の既存事業との連携や、デジタル機器の利用が難しい高齢者への対応を含め、継続的な参加につなげる方法について質問がありました。

応募団体からは、管理栄養士や健康運動指導士などの人材を活用し、栄養と運動を組み合わせたプログラムを実施するとの説明がありました。また、キャンペーンなどを通じて、利用者が段階的に目標を達成し、習慣化できるよう支援するとのことでした。

（８）職員研修

委員から、LGBTQ研修や人権研修の実施時期、時間、内容について質問がありました。

応募団体からは、休館時期などを活用して対面研修を実施し、参加できなかった職員にも別途研修の機会を設けるとの説明がありました。研修では講義に加えてグループ討議やレポート作成を行い、内容に応じて約５～６時間を見込むとの回答がありました。

４　閉会

プレゼンテーションおよび質疑応答の終了後、委員会は閉会しました。